



荒尾 — 干潟 —

活動状況



●サンセットカフェ&コンサート

荒尾干潟で初開催のオリジナルイベントを3月に開催しました。県内外より約500名の皆さんにお越しいただき、3組の地元アーティストが奏でる音楽が、荒尾干潟に沈む夕陽をバックに映え、「感動した」との声を多数いただきました。

今年度は11月10日(日)に開催予定(雨天順延11日(日))で、カフェの出店数や臨時駐車場増設等を改善し、さらなる感動を生んでいきたいと思っております。



●海岸の植物観察会(勉強会) 6月

荒尾干潟の海岸に自生する塩性植物に詳しくなるよう、と当協議会で勉強会を開催しました。今回で4回目の開催で、絶滅危惧種のハマツメグサやハマユウ、コマツヨイグサ等を講師の方から解説いただき観察しました。

ピックアップ

「荒尾干潟」の魅力発信するロゴマークを募集中!

荒尾干潟 ロゴマーク大募集!!

最優秀賞1点には賞金10万円が!9月28日(金)まで募集中です。詳細は荒尾市ホームページをご覧ください! <http://www.city.arao.lg.jp>

県立岱志高等学校・理科部(荒尾市) 第27回くまもと環境賞「くまもと水の国賞」受賞しました。荒尾干潟でのベントス調査、交流、啓発事業等が評価されました。



今回の一枚



〈日本野鳥の会オリジナルの長靴〉

ハードウォッチャーはもとより、野外フェス(コンサート)では若者が履いたり、と巷で話題となっていますが、先日「マジャク釣り体験」に来ていた小学生まで人気のメジロ色長靴を履いているのを目撃しました。

みんなに愛される野鳥の会長靴。荒尾干潟のあらゆる所にこれからも登場しそうです。

野鳥飛来状況



7月7日(土)
オオソリハシシギ(30+)
キアシシギ(15)
ダイゼン(42)
荒尾漁協前の干潟。
先月は見かけなかった
個体なので、もう北より

南下してきた可能性有。

6月22日(金)アカショウビン、ヒクイナ

6月24日(日)シロチドリ、アオバト
蔵満海岸(ビジターセンター建設地付近)の松林。隣接する田んぼにも多数の野鳥が見られます。シロチドリは今年も繁殖している様子です。

観察会・関連行事のお知らせ

●荒尾干潟 夏のわくわくワークショップ 「貝殻モビールとフォトフレームをつくらう」

日時: 8月11日(土・祝)10:00~12:00

場所: 荒尾市中央公民館2階

参加費: 無料 定員: 40名

問合せ: 荒尾干潟保全・賢明利活用協議会

電話 0968-63-1386(荒尾市環境保全課)

●くまもとみんなの川と海づくりデー 清掃作業

日時: 8月26日(日)7:30~9:30

場所: 荒尾干潟(蔵満海岸)

問合せ: 荒尾市環境保全課 電話 0968-63-1386

●KODOMO ラムサール湿地交流 in 荒尾干潟

期日: 9月23日(日・祝)~24日(月・振休)

場所: 荒尾干潟、エボック・荒尾 など

※一般参加受付は行いません。

●トヨタソーシャルフェス(海岸清掃・干潟で凧揚げ)

日時: 10月21日(日)午前中

場所: 荒尾干潟(蔵満海岸)

問合せ: 荒尾市環境保全課 電話 0968-63-1386

有明3ひがた

ラムサール市民だより

荒尾干潟・東よか干潟・肥前鹿島干潟

第4号・平成30年7月発行

発行: 環有明海ラムサール市民だより
実行委員会

荒尾干潟保全・賢明利活用協議会(熊本県荒尾市)
東よか干潟づくり協議会(佐賀県佐賀市)
まえうみ市民の会(佐賀県鹿島市)

協力機関 荒尾市環境保全課、佐賀市環境政策課、
鹿島市ラムサール条約推進室

編集担当: 荒尾干潟保全・賢明利活用協議会
(当番制) 年3回発行・各施設にて配布・PDF 配信

特集 有明海沿岸にビジターセンターが続々誕生します!

有明海沿岸のラムサール条約3湿地では、現在活動拠点整備に関する事業が盛んに行われており、各湿地ごとにビジターセンター(自然観察センター)が建設されます。

今回は、3湿地のビジターセンターについて少し紹介します。



肥前鹿島干潟拠点施設の整備

- 目的: 干潟体験と環境教育の拠点として整備する。
- 名称: (仮)鹿島市干潟交流館
- 開館時期: 2019年4月
- 事業主体: 鹿島市
- 場所: 鹿島市音成甲4427-5(市海浜スポーツ公園)
- 内容: ミニ水族館、有明海および肥前鹿島干潟の情報展示(有明海に関する情報の収集・発信)、学習室、そのほか現在議論中)



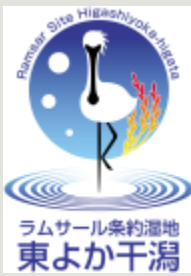
荒尾干潟拠点施設の整備

- 目的: 荒尾干潟の魅力発信し、人々の交流や調査研究等に活用することにより、ラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟の保全と賢明な利用を推進し、ひいては有明海全体の保全と利用につながることを目的として整備される。
- 名称: 荒尾干潟水鳥・湿地センター
- 場所: 荒尾市蔵満20番地1(蔵満海岸隣接)
- 開館時期: 2019年春ごろ
- 事業主体: 環境省
- 内容: 生体展示(水槽)、荒尾干潟・東よか・肥前鹿島干潟に関する情報展示、体験キッチン、標本展示、眺望休憩ゾーン、研修室、漁具展示、ボランティアスタッフ室



東よか干潟拠点施設の整備

- 目的: 東よか干潟の豊かな自然環境の保全の推進及び地域の活性化に資するため、環境教育・交流・観光等の拠点となる施設を整備する。
- 名称: 東よか干潟拠点施設(仮称)
- 開館時期: 2020年度
- 事業主体: 佐賀市
- 場所: 干潟よか公園の西側に隣接して整備
- 内容: 現在設計中



東よか — 干潟 —

活動状況

●東よか干潟ラムサールクラブ

東与賀まちづくり協議会では、東よか干潟のすばらしさを多くの人に伝えることを目的として、佐賀市が運営する「東よか干潟ラムサールクラブ」に、大人のクラブ員として参加・協力しています。今年度は公募により応募があった市内の小中学生 30 人と大人 10 人の合計 40 人で活動を開始しました。干潟の生き物調査、野鳥観察、他の湿地の子ども達との交流などを通じて、東よか干潟の未来のリーダーが育ってくれることを期待しています。



ヤベガワモチ

●コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーン in 佐賀

5月20日(日)に、エフエム佐賀とコスモ石油の主催により、東与賀海岸の清掃イベントが開催されました。県内外から481人の参加により、7,695ℓものゴミが回収されました。東よか干潟がラムサール条約に登録された5月に毎年開催されており、今年で3年目になります。たくさんの方の協力で、東よか干潟の環境や海岸の景観が保全されていることに感謝です。



●シチメンソウ紅葉予測プロジェクト

東与賀まちづくり協議会の会員も多数参加している「東よか干潟ボランティアガイド」では、現在26人体制で東よか干潟の価値や魅力を現地で案内しています。今年度から、干潟やシチメンソウの研究をされている佐賀大学農学部の郡山准教授が考案した「シチメンソウ紅葉予測プロジェクト」に参加しています。ガイド時にシチメンソウの色付き具合を専用用紙にチェックし、その分布や変化により、紅葉する時期を予測する試みです。来訪者に対して事前に見頃の情報を伝えることができると、調査に熱が入ります。



今回の一枚



4月21日(土)に佐賀市の姉妹都市である米国ニューヨーク州グレンズフォールズ市から、市長をはじめ約25人(佐賀市のホストファミリーを含む)が東よか干潟を訪問されました。

東よか干潟を初めて訪れた人は、広大な干潟の風景や干潟の生き物、そしてたくさんの野鳥の姿に感動されていました。また、30年前に一度訪れたことがあるという方は、東与賀海岸がとてもきれいに整備されていることに驚いておられました。

野鳥飛来状況

夏至も過ぎ、いよいよ本格的な夏を迎え暑い日が続いています。野鳥たちは繁殖の時期を迎え、北極圏やシベリア、アラスカの方に旅立ち、東よか干潟で観られる野鳥は少なくなりました。それでも調査時点では、クロツラヘラサギをはじめ100羽程度が観られました。これらは繁殖期を迎えていない若鳥たちでしょうか？

(6月15日 満潮 10:00 潮位 5.5メートル) メダイチドリ 13羽、ダイゼン 31羽、トウネン 2羽、ハマシギ 4羽、サルハマシギ 1羽、オバシギ 4羽、ソリハシギ 1羽、オグロシギ 2羽、オオソリハシギ 1羽、ダイシャクシギ 12羽、ホウロクシギ 3羽、クロツラヘラサギ 11羽

日本野鳥の会佐賀県支部 田中丸氏 提供

観察会・関連行事のお知らせ

- 野鳥観察会(日本野鳥の会佐賀県支部)
 - ・日時 7月29日(日) 9:00~
8月26日(日) 8:00~
 - ・場所 東よか干潟(大授搦) 東与賀海岸展望台
- 夕暮れコンサート&東よか干潟の十五夜を観る会
 - ・日時 9月23日(日) 16:30~
 - ・場所 干潟よか公園(佐賀市東与賀町)

- 干潟の祭典 シチメンソウまつり
 - ・日時 11月3日(土)~4日(日)
 - ・場所 干潟よか公園

※東与賀海岸では国内最大の群生を誇るシチメンソウのライトアップによる幻想的な光景を観ることができます。
ライトアップの期間 10月30日(火)~11月4日(日)



肥前鹿島 — 干潟 —

活動状況

●まえうみ市民の会 新設「(仮)鹿島市干潟交流館」活用提案
来年度新設される予定の「(仮)鹿島市干潟交流館」について、地域住民の意見を踏まえてもらおうと、まえうみ市民の会では活用提案書を作成しました。まえうみ市民の会事務局で原案を作り、6月19日に開催された定例会で会員の皆さんに議論していただき、それをふまえて事務局で再度検討し直し、6月25日に鹿島市役所に提出しました。これを参考にさせていただき、市民が参画しやすい施設ができれば良いと思います。

まえうみ市民の会 提案書

(仮称) 鹿島市干潟交流館

コンセプト
有明海利活用の拠点

目的

1. 「有明海」「干潟」をキーワードに、地域住民の取り組みや交流を促進する。
2. 有明海に関する解説展示を行う。生き物を展示する。
3. 小中高校の環境教育を支援する。
4. 「有明海」をキーワードとした生涯学習の支援をする。
5. ラムサール条約登録湿地である「肥前鹿島干潟」のビジターセンターの機能を果たす。
6. 県内外の博物館・水族館施設と連携して、有明海をアピールする。
7. 有明海や干潟の利活用を促進するための企画をする。
8. (有明海の各種情報を蓄積し、提供できるようにする。)

「肥前鹿島干潟」保全・利活用計画 (鹿島市ラムサール条約推進協議会) | 鹿島市七浦地区活性化計画 農山漁村振興交付金活性化計画 | その他

鹿島市が掲げている「有明海研究所構想」やその他の計画をのなかで、新施設「干潟交流館」がどのように位置づけられ、生かしていくかについて、市民を交えた議論の場が必要

野鳥飛来状況



4月18日(水)
チュウシャクシギ 141羽の初認を皮切りに、肥前鹿島干潟には今年もたくさんのチュウシャクシギが渡ってきました。最大数は5月11日(金)の1300羽。この日はほかにもオグロシギ 50羽の他、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシギ、ムナグロが観察されました。夕暮れの中シギたちの声が干潟に響き渡り、とても素晴らしい時間でしたよ。

●干潟の生き物市民調査

昨年度から開始した肥前鹿島干潟およびその周辺の「干潟の生き物市民調査」を今年度も継続して実施しています。第一回目は6月9日に開催しました。本来ならばラムサール登録湿地である肥前鹿島干潟で実施すべきなのですが、干潟調査に必要な水が確保しにくいこと、生物の同定作業を行うことができない、といった課題が未だ解決できず、昨年度と同様、道の駅鹿島前の干潟で実施しました。今回は「うなぎ塚」を使った調査と、投げ込み式道具を使った干潟調査の2つを行いました。「うなぎ塚」に関しては、昨年度、まえうみ市民の会が年数回の調査を実施していることから、生き物出現リストができています。これを参考にしながら調査しました。これらの様子については何かの機会に報告したいと思います。



●広島の市民団体、肥前鹿島を訪問

6月14日に広島の市民団体「宮島の磯・生きもの調査団」が有明海の干潟や生き物を観察しに来られました。「宮島の磯・生きもの調査団」は2003年に設立され、厳島を中心とした海岸生物の調査をしたり、観察会など啓発活動を実施している団体です。最近では、地元の海(瀬戸内海)以外の自然も年に1度のペースで遠出されて見に行っているとのことでした。当日はまえうみ市民の会の方が案内して、鹿島川河口のヨシ原、漁港、肥前鹿島干潟などを案内し、昭和初期に建てられた民家を利用した体験型民宿「みんなの家」に止まってくれました。広島湾とは違った「泥干潟」を満喫して帰られました。



観察会・関連行事のお知らせ

- 干潟案内人養成講座「ウナギ塚調査」
期日: 7月23日(月) ※一般参加募集無
- こどもラムサール観察隊 平尾台キャンプ
期日: 8月20日(月)~21日(火) ※一般参加募集無
- 環境講演会「水のまち鹿島」
期日: 9月29日(土) 10:00~16:00
場所: 鹿島市民会館 ホール
申込み・問合せ: 鹿島市環境下水道課
TEL: 0954-63-3416